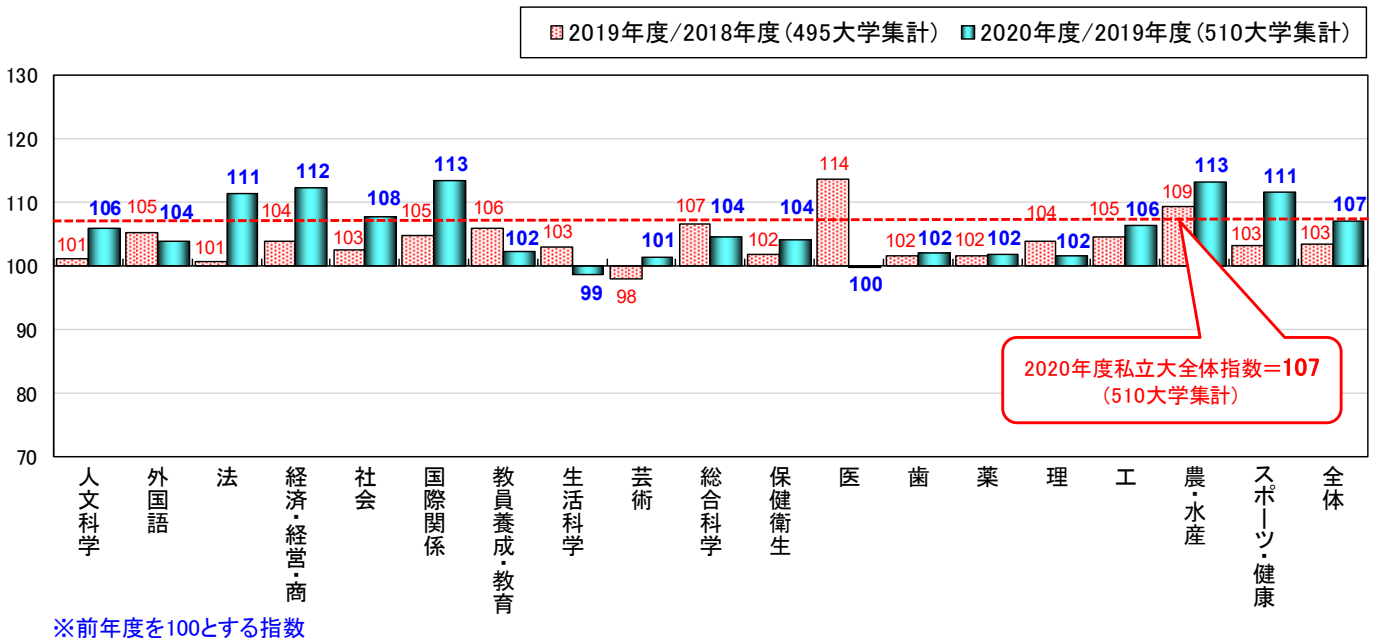


2020 年度入試状況分析【私立大】

◎系統別合格状況

□全体の合格者数は増加し、一部の系統を除き競争は緩和

[私立大一般選抜入試 系統別合格状況]



駿台が集計した私立大510大学の合格者数(107)はやや増加で、2年連続増加となりました。系統別では、18系統中15系統で増加しましたが、私立大の中で最も募集人員の多い経済・経営・商(112)、次いで多い工(106)の増加数が多かったことが全体の増加に大きく影響しました。

志願者数の増減率と比べると、一部の系統を除き、競争が緩和したことがわかります。特に文系の系統は、前年度は6系統全てで志願者数増加率が合格者数増加率より大きかったのに対し、2020年度は反対に6系統全てで志願者数減少、合格者数増加となったことで、競争緩和がはっきりしたことがわかります。特に国際関係(113)、法(111)はいずれも20ポイント以上の大きな差で、競争は大幅に緩和したといえます。一方で、理(102)は、志願者数が約5%増加したにもかかわらず、合格者数は微増に留まったことで競争が厳しくなったことも2020年度入試の特徴といえます。また、工(106)は、合格者数の増加率は志願者数の増加率と比べて約1ポイント大きいだけでほぼ前年度並の競争でした。

[私立大一般選抜入試 系統別志願・合格状況]

